

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 4年 5月 30日 報告者：明壁 均

行事種別	研究会	行事番号	220000600	
開催日	令和 4年 5月 7日 (土) ~ 20日 (金) (オンデマンド配信)			
時間	開始	0時00分	終了	23時59分
場所	Web開催			
テーマ	不妊治療の保険適応について			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	なし			
講師	<p>1.保険診療について 小牧市民病院 藤田 京子</p> <p>2.保険適応による当院の取り組み 八千代病院 小笠原 恵</p> <p>3.生殖医療診療報酬化に対する ART コンサルタントとしての考察 利ゾオ・ジャパン株式会社 ART コンサルタント 鶴田健太郎</p>			
内容	<p>1.保険診療について 小牧市民病院の藤田先生が、我が国における保険診療についてわかりやすく説明され、保険診療と自費診療を同時にする混合診療ができないことを話されました。</p> <p>2.保険適応による当院の取り組み 八千代病院の取り組みを小笠原先生から紹介されました。4月に間に合うように診療報酬改定内容を確認し数回に亘り医事課と検討したことや、保険内で可能な妊娠率を上げることのできる高濃度ヒアルロン酸胚移植用培養液に試薬変更したことなどのお話がありました。また最後に今回の改定に伴う問題点、例えば保険が通っていない方法、試薬を使用しての不妊治療ができないことなどを提示され、もっと患者さんにあつたいろいろな治療が出来るように保険適用の改正をと訴え話を結ばれました。</p> <p>3.生殖医療診療報酬化に対する ART コンサルタントとしての考察 利ゾオ・ジャパン株式会社の ART コンサルタント 鶴田氏には、今回の改定により一般不妊治療、生殖補助医療で保険適用された項目の詳しい内容説明がありました。また先進医療として子どもを持ちたいという方々が安心かつ有効で安全な不妊治療を受けられるようにするための医療評価がどんどん進められていることを紹介いただきました。</p>			

参加者	総数：75名（会員 43名、県外会員 31名、非会員 0名、賛助会員 0名、学生 0名、その他 1名）レポート提出者：75名
共催、後援など	なし

2019.12.7

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 4年 8月 25日 報告者：明壁 均

行事種別	生殖医学講演会	行事番号	220003153
開催日	令和 4年 8月 6日（土）～ 19日（金）（オンデマンド配信）		
時間	開始	0時 00分	終了 23時 59分
場所	Web 開催		
テーマ	生殖医療領域における内視鏡手術		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	なし		
講師	<p>「不妊症と手術」</p> <p>藤田医科大学 ばんだね病院 産婦人科 准教授 内海 史</p>		
内容	<p>「不妊症と手術」</p> <p>今夏の講演会は Google アカウントを使用した YouTube 視聴となった。</p> <p>不妊とは、妊娠を望む健康な男女が避妊をしないで性交をしているにもかかわらず、一年以上妊娠しないものをいいます。</p> <p>その原因には、男性因子女性因子がそれぞれあります。</p> <p>今回の講演では女性因子中の卵巣や卵管、子宮などに原因がある場合の以下の内視鏡手術適応例について、手術画像と共にお話して頂きました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラミジア感染症と卵管閉塞 <p>性器クラミジア感染症は、若い人の中で増加していて、特に女性では不顕性感染が多く感染に気付かないことがあります。放置しておくとう卵管閉塞や卵管周囲の癒着によって卵管に卵子が取り込まれにくくなるため不妊症となり手術対象となります。</p> <p>卵管障害の検査として子宮卵管造影（HSG）検査があります。</p> ・子宮筋腫と子宮腺筋症 <p>子宮筋腫とは、子宮筋層にできる平滑筋腫瘍をいいます。</p> <p>子宮腺筋症とは、子宮内膜に類似した組織が子宮平滑筋組織の中にできる疾患です。</p> <p>不妊原因は子宮内膜に突出もしくは圧迫している粘膜下筋腫による着床障害です。</p> 		

	<p>手術で取り除き、術後は一定期間の避妊が必要で、妊娠時に帝王切開が必要です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子宮内腔病変 <p>子宮粘膜下筋腫、子宮内膜ポリープ、子宮奇形、子宮腔内癒着症などが挙げられます。サイズ、存在部位、病変数などが影響を及ぼします。</p> <p>子宮粘膜下筋腫では、子宮内腔圧迫と血流障害によって精子の輸送障害や受精卵の着床障害を引き起こすことが不妊や流産の原因とされます。</p> <p>子宮内膜ポリープでは、未治療でも妊娠する症例もあります。精子輸送障害や着床障害、子宮内腔の炎症などに影響を及ぼしていると考えられますが、妊孕性に対するメカニズムは明確になっていません。</p> ・子宮内膜症 <p>不妊の原因としては、骨盤内癒着に伴う卵管障害、卵巣子宮内膜症性嚢胞による卵巣予備能の低下、腹腔内貯留液による配偶子や胚への影響などがあります。</p> ・子宮奇形 <p>子宮奇形に対する ASRM 分類があり、中隔子宮では不妊症の発生率が高いです。また早産のリスクが上昇します。</p> ・異所性妊娠 <p>妊娠反応が陽性にもかかわらず子宮内に GS を認めません。所謂子宮外妊娠です。妊娠 6 週頃に破裂のリスクが高くなり、突然破裂し大出血することがあります。治療は手術が主体となります。</p> <p>以上のお話がありました。</p>
参加者	総数：80 名（会員 45 名、県外会員 35 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）レポート提出者：56 名
共催、後援など	なし

2019.12.7

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：生殖医学検査研究班 提出日：令和 4 年 12 月 26 日 報告者：藤田 京子

行事種別	研究会	行事番号	220012322	
開催日	令和 令和 4 年 12 月 3 日(土)～ 16 日(金)			
時間	開始	0 時 00 分	終了	23 時 59 分
場所	所在地 オンデマンド配信			
テーマ	精液検査と人工授精			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	なし			

講師	<p>精液検査について 医療法人 稲垣婦人科培養室 黒川 理菜</p> <p>人工授精について 藤田医科大学 臨床検査部 及川 彰太</p>
内容	<p>【精液検査について】</p> <p>具体的な精液検査に関する内容だけでなく、精液/精子に関する基礎知識から、精液検査を利用した不妊原因の精査まで、幅広く講演いただいた。</p> <p>精液検査の項では、適切な検体採取があってこそ検査の正確性や臨床的意義が高まること、またそのためには患者協力が必要であり、協力が得られるような説明方法も重要であると感じた。検査の進め方、精度を上げるための工夫など、具体的で非常にわかりやすく、すぐにルチン業務に役立てることができる講演内容であった。</p> <p>また、精液検査の基準値においては、他検査項目のようないわゆる「正常値」とは異なり「正常下限値」であること、今後の治療方針を考える判断材料のひとつにすぎない、という部分が印象的であった。</p> <p>精液検査の手技だけでなく、実際の業務で実施されている性交後検査の紹介、患者に対する声掛けの配慮など、生殖分野になじみのない受講者にとっても参考になったと思われる。</p> <p>【人工授精について】</p> <p>不妊治療の流れから、今年度より開始された生殖医療の保険適用化など、海外の文献紹介もまじえて人工授精の詳細をご講演いただいた。</p> <p>人工授精とはどのような治療方法なのか、精液調整の目的/必要性和様々な調整方法が紹介された。ルチンにおいても単純に手順を守って精液調整するのではなく、目的を理解して業務にあたることはとても重要であると思う。実際の手技の紹介では写真が多用され、視覚的にも理解が深まる内容であった。</p> <p>海外文献の紹介では、処理後の精液所見から人工授精の治療効果を検討する際に、参考になるデータが示された。客観的なデータにより、臨床での治療方針検討に役立つ情報であった。</p>
参加者	<p>総数：75名（会員50名、県外会員25名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名）・申込総数100名（レポート提出者：75名）</p>
共催、後援など	なし